



確かな学力の向上をめざして【10月】

■「小学校外国語活動」「小学校外国語科」「中学校外国語科」目標の実現に向けて

子どもたちが次世代を生き抜くために、外国語におけるコミュニケーション能力の向上が強く求められています。その実現のためには、「小学校外国語活動」、「小学校外国語科」、「中学校外国語科」それぞれの役割を理解し、小中の学びをつなぐことが重要です。今回は、「話すこと〔発表〕」の目標に着目し、比較することでそれぞれの役割を再確認します。



小学校外国語活動の「話すこと〔発表〕」の目標	小学校外国語科の「話すこと〔発表〕」の目標	中学校外国語科の「話すこと〔発表〕」の目標
ア 身の回りの物について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話す <u>ようにする</u> 。	ア <u>日常生活に関する身近で簡単な事柄</u> について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことが <u>できるよ</u> <u>うにする</u> 。	ア <u>関心のある事柄</u> について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。
イ 自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話す <u>ようにする</u> 。	イ <u>自分のこと</u> について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことが <u>できるようにする</u> 。	イ <u>日常的な話題</u> について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。
ウ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話す <u>ようにする</u> 。	ウ <u>身近で簡単な事柄</u> について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことが <u>できるようにする</u> 。	ウ <u>社会的な話題</u> に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。



文末表現に注目！



扱う事柄に注目！

「～するようにする」から「～できるようにする」へ

「慣れ親しむ」から「技能習得」へ

「自分のこと」「身近で簡単な事柄」から「日常的な話題」「社会的な話題」へ

「児童自身のこと」から「より広いもの」へ

★「小学校外国語活動」「小学校外国語科」「中学校外国語科」には、それぞれ果たすべき「ねらい」があり、それらは全てつながっています。

- ①指導目標、内容を確認して授業づくりに努めましょう。
- ②校内研修を充実させ、さらに小中連携、小中連携を図りましょう。

- ・第2回外国語担当者研修会など、研修の機会を活用しましょう！
- ・『小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック』（文部科学省HPに掲載）を活用しましょう！

